

火葬設備の更新について

1 現在の火葬設備

当斎場の火葬設備は、平成 5 年に中央斎場が火葬業務を開始してから 32 年が経過し、老朽化が進んでいます。

現在の火葬設備は普通炉 10 基と小型炉 1 基の体制となっております。

また、これらの火葬設備を稼働させるための電気設備や制御システムも付属しております。

2 火葬炉更新の必要性

当斎場の建物は、開場から 70 年使用する予定であり、残り 30 有余年の業務を行うために新しい火葬炉に交換する工事を令和 9 年度から進める予定です。

3 更新方法

普通炉は 2 炉と排煙設備がセットとなっているため、2 炉ずつ 5 年間かけて交換する予定です。同時に、電気設備の交換も実施します。

工事期間は、火葬件数の多い冬季に重ならないように春から秋にかけて実施します。

その間は、8 炉で火葬を実施しますが、1 日最大 22 件は変えず受け入れをいたします。

4 新しい火葬炉のメリット

今以上にクリーン性能が高い火葬設備となります。

臭気や有害物質の排出がさらに抑制されるメリットがあります。

皆様から改善要望の多い火葬時間の短縮は難しい(変わらない)とメーカーから聞いております。

5 葬祭事業者様へのお願い

会葬者にはご迷惑をおかけしないよう努めますが、工事中に騒音や異臭の発生や作業員、工事車両が場内を通行する場合がありますので、あらかじめご容赦ください。

※可能な限り、会葬者に影響ある作業は休場日に実施します。

(参考)工事スケジュール[予定]

	R 9 年度 (2027 年)	R10 年度 (2028 年)	R11 年度 (2029 年)	R12 年度 (2030 年)	R13 年度 (2031 年)
火葬設備	・ 9 号／10 号 ・ 第 5 系統	・ 1 号／2 号 ・ 第 1 系統	・ 3 号／4 号 ・ 第 2 系統	・ 5 号／6 号 ・ 第 3 系統	・ 7 号／8 号 ・ 第 4 系統
そ の 他	・ 制御システム ・ 電気設備	・ 非常用発電 設備	—	—	—